

上野原西中学校にアメリカから体験入学の希望がありました！

7月8日(月)から2週間、日本の学校の様子が知りたいということで、3年生のクラスに1名の生徒がやってきました。もともと、保護者が上野原西中学区の生まれで、今現在、海外に移住し、そのお子さんが「日本の学校がどんなところか知りたい！」というきっかけで本校に来ることになりました。

話を聞いてみると興味本位というわけではなく、これから高校・大学へと進学し、将来をしっかりと見据えて日本の文化や言語、アメリカの文化や言語を身につけることで自身の選択肢の幅を広げたいということでした。アメリカでも日本人学校に通い、努力を続けているそうです。日本の学校は、厳しいと聞いていたようでしたが、2週間体験してみると楽しいことがたくさんあったそうです。日本では給食があり、制服や規則などの決まりがあるけれど、アメリカと比較してみると日本のシステムも良いと感じたそうです。自由がある半面、自己責任も問われる海外と日本の学校との違いを肌で経験することができたと話していました。

今までもアメリカでの夏期休業中には日本にも来ていましたが、近所に知っている同年代の生徒がいなくてさみしい思いをしていました。しかし、今回の体験で3年生が温かく迎え入れてくれたので、日本にいる間、見知った友達も増え、日本の友達とともに過ごせる事も、上野原西中学校に来て良かったと話していました。

「リスペクト・アゼース(相手を尊重する)」について考える機会を持ちました！**第2学年人権教室 7月11日(木)開催**

昨年に引き続き、「相手を尊重する気持ちを持ってほしい」ということから、地域の人権擁護委員の方と協働で人権について考える機会を持ちました。相手を尊重するという気持ちを育むことで「いじめ」のような他人の人権侵害につながる行為が起こらないことをねらいとしています。

今年度は、教師主導ではなく、人権擁護委員の方が中心となって、生徒達とふれあう中で講義を進めてきました。普段のように教師が前に立って行うのと同じ感じがしたのか、生徒達も前のめりになって話を聞いたり、班で自分たちの考えをまとめたりしていました。それぞれの生徒達の「私の宣言」として、A組1・2班『差別をしないで一人一人を大切に』、A組3・4班『自分の言葉や行動を理解する』、A組5・6班『思い込みをして判断しない』、B組1・2班『全部を否定しない』、B組3・4班『一人一人が思いやりを持って接する』、B組5・6班『嫌なことがあっても差別しない』ということを発表しました。



若葉祭！ 全校合唱の発表に向けて練習に取り組んでいます

若葉祭に向けて全校合唱の練習を行っています。今年は「あとひとつ」と「花は咲く」に取り組んでいます。「花は咲く」はすでに音楽の授業でも取り組んでいるので、三者懇談の時間を利用して主に取り組んでいるのは、「あとひとつ」です。10年ほど前に夏の高校野球の応援ソングになった曲です。生徒達もリズムが歌いやすいのか早々に覚えて元気よく歌っています。昨日、パートで合わせたときには、男子パートがつられているところもありましたが、初めて合わせたにもかかわらず、声もよく出ていて本番の発表が楽しみな曲になりました。

三者懇談で担任の先生がいない中で、3年生の合唱委員を中心とした生徒達が音取りから運営まで周りを見ながら取り組んでいます。周りがざわざわしたときには、「静かにしよう！」という声も出ていて、安心して任せられる様子も見られます。



2学期から学校指定のポロシャツを着用できるようになります

7月2日(火)にポロシャツの採寸を行いました。校舎正面の玄関を入っていくと白色と紺色のポロシャツが展示してあります。三者懇談でいらっしゃった保護者の方でご覧になった方も多いのではないでしょうか。ポロシャツについては、必ず着用というわけではありません。また、今からでも購入希望があれば業者さんに注文することで購入することも可能です。生地については速乾性があり前日に洗っても翌日には乾くということ、肌着が透ける事なく型崩れしにくいものを採用しています。製品の納期の連絡が来たところでお知らせいたします。今までのシャツ等も着用することはできるので安心してください。



新しいことをはじめるために、一歩踏み出す勇気を・・・

7月12日～18日までの4日間の三者懇談に際しまして、お時間を作っていただきありがとうございました。子ども達の学校での様子が伝わりましたでしょうか。

夏休みは土日を含めて7月20日～8月27日までの39日間あります。ゆとりある時間をいかに有効に使うか。1学期の始業式に「新しいことをはじめるために一歩踏み出す勇気を」という話をしました。個人個人でどんなことに挑戦するのか、そこに、大きなこと、小さなことありません。人それぞれ違って良いのです。大切なことは、とにかく挑戦するために踏み出すということです。私もこの夏、やってみようと思っていることがあるので、挑戦していきたいと思います。

保護者の皆様も、お子さんの挑戦に関心を持っていただき、後押しできるよう見守っていただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

